

平成30年11月19日

一般社団法人麒麟のまち観光局 平成30年度事業進捗状況について

## 一般社団法人麒麟のまち観光局 事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

## 【基本方針】

目指すべき姿である『地域に根差し、地域で稼ぐ観光地域づくり法人』に向けて、鳥取因幡・北但西部観光グランドデザインに基づく【コンセプト】【ビジョン】を掲げ、重点ターゲットである情報リテラシーの高い国内若年層・訪日外国人を意識し、【基本戦略】の推進に必要な事業を展開していくことを当該年度事業計画の基本方針とする。

## 【コンセプト】

鳥取因幡・北但西部地域の今後の観光振興に向け、多様な事業主体・関係者等相互の連携、並びに事業の円滑な推進を図り、夢のあるビジョンを描き、“広域エリアだからこそ出来る、やりたいこと、やれること”に取組み、それぞれの市町の活動と有機的な連動・連携及び住民参加による地域全体の活性化をめざす。

## 【ビジョン】

## ■地域のめざす姿

→生活圏・商圈・文化圏、新たな観光圏の連携が実現

## ■麒麟のまち観光圏を訪れる観光客の皆さんに期待する姿

→訪れた人々が「美しさ・温かさ・うまさ」に感動する地域

## ■地域住民のめざす姿

→住民が主体となり様々な交流を通じて、創りあげる笑顔あふれる地域

## 【基本戦略】

## ■ブランディングによる情報発信の推進

## ■観光資源のブラッシュアップ

## ■食に関するコンテンツの開発

## ■回遊性の高い地域交通網の検討

## ■おもてなし文化の醸成

※上記事業計画は、平成30年5月25日に開催の定時総会において決議

## ■事業進捗状況

### 【基本戦略に基づいた事業展開状況】

<p>■ブランディングによる情報発信の推進</p>	<p>●インナーブランディングのためのデザイン制作 各種ツール（キャッチコピー、ロゴデザイン、コンセプトムービー等）作成のため、専門家と事務局とでブランディングについてビジョン・コンセプトの開発に着手。</p>																
<p>■観光資源のブラッシュアップ</p>	<p>●交通機関にかかわる観光コンテンツ開発 (1) 若桜鉄道「昭和」貸切プラン 【「昭和」貸切乗車人員】</p> <table border="1" data-bbox="691 725 1337 882"> <thead> <tr> <th>時 期</th> <th>乗車人員</th> <th>時 期</th> <th>乗車人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3月</td> <td>293名</td> <td>6月</td> <td>154名</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>227名</td> <td>7月</td> <td>102名</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>230名</td> <td>計</td> <td>1,006名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 智頭急行「あまつぼし」貸切プラン (3) 浦富海岸クルーズ船貸切プラン</p> <p>●圏内への旅行者誘導のためのイベント企画 (1) 29ロードウォーク (2) 第10回隼駅祭り (3) 鳥取砂丘トライアスロン大会 (4) 麒麟獅子舞を披露する場の創出 (5) 「麒麟 EXHIBITIONS」との連携</p> <p>●圏域内への旅行者誘導のための観光コンテンツ開発 (1) 山陰海岸ジオパークのブラッシュアップ (2) 但馬エリアの観光素材開発 (3) 観光専門学校の授業誘致</p> <p>●訪日外国人の誘客対策 (1) 羽田－鳥取訪日外国人旅行者誘客事業 “ODYSSEY JAPAN PROJECT”は、ANA 総研と連携し、インバウンド向けホッピングツアーの実施と鳥取砂丘コナン空港の利用促進が目的。 (2) F A Mツアーの企画</p> <p>●圏内の届出民泊の情報収集、訪日客受入に関する調査 (1) 民泊開業支援ための情報収集 (2) 受入れ可能施設の把握</p>	時 期	乗車人員	時 期	乗車人員	3月	293名	6月	154名	4月	227名	7月	102名	5月	230名	計	1,006名
時 期	乗車人員	時 期	乗車人員														
3月	293名	6月	154名														
4月	227名	7月	102名														
5月	230名	計	1,006名														

<p>■食に関するコンテンツの開発</p>	<p>●「SAVOR JAPAN」認定推進事業の申請 日本食・食文化によるインバウンド誘致のため農林水産省が推進する「SAVOR JAPAN」への認定を目指し、“ここから始まる～和牛のふるさと・麒麟のまち～(鳥取因幡・兵庫但馬)”と題して申請。「食部会」の設立準備進行中。</p> <p>●第一次産業観光利活用推進協議会との連携</p> <p>●J A たじまとの連携方法の協議</p>
<p>■回遊性の高い地域交通網の検討</p>	<p>●県境ミッシングリンクの解消 (1) 鳥取・兵庫県境周遊バスの検討</p>
<p>■おもてなし文化の醸成</p>	<p>●外国語対応のための体制整備 (1) 専門人材の確保 (2) 関係機関・団体との連携</p> <p>●ブランドコードの発信 (1) 麒麟のまちブランドの構築に向けた共通ルール構築 (2) 日本ファームステイ協会との連携</p>
<p>■その他</p>	<p>●マーケティング調査 動態データ等を購入し、麒麟のまち圏域の観光動態分析(各地の観光拠点の関連性)を実施し、分析結果を二次交通の整備等の各事業の判断材料として活用。</p> <p>●旅行者の利便性向上のためのシステム構築 「観光メニュー予約・決済システム」の開発</p> <p>●圏内情報の収集・発信 (1) 「麒麟のまち秋祭り 2018」の作成・配布 (2) 「麒麟のまち観光ネット」への圏内情報の掲載 (3) ANA との連携 (4) 外国語による SNS 発信 (5) 「鳥取砂丘ビジターセンター」公式WEB サイト構築</p> <p>●関係機関・団体との連携 (1) 各観光協会への定期訪問 (2) 山陰インバウンド機構への対応 (3) 隣接DMO等との連携 「豊岡イノベーション」「海の京都」</p>